



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
 （奈良県保健環境研究センター内）
N a r a I D S C



今週の概要

- 今週の感染症情報
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（3月月報）
- 病原体（ウイルス）検出情報（3月）



（調査週） 平成 24 年 第 16 週 4 月 16 日（月）～4 月 22 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	感染性胃腸炎	6.89	→～↑	→	↑	→
2	インフルエンザ	4.18	→～↓	→～↓	→～↓	→～↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.63	→～↓	→～↓	→～↓	→～↑
4	水痘	0.57	→	→～↑	→～↓	↑
5	突発性発しん	0.40	→～↑	→	↑	→～↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は233例で、前週報告の233例と同数。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③水痘、④A群溶連菌咽頭炎、⑤突発性発しんの順。感染性胃腸炎の報告数（93例）は、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数（104→109例）も、ほぼ横ばい。水痘の報告数（11例）も、ほぼ横ばい。A群溶連菌咽頭炎の報告数（7例）も、ほぼ横ばい。突発性発しんの報告数（5例）も、ほぼ横ばい。なおいまだに、インフルエンザ定点から、奈良市HC管内；44例、郡山HC管内；65例が報告されている。基幹定点と眼科定点からの報告は、奈良市HCおよび郡山HC両管内共になかった。（村井 記）

県北部外来状況： インフルエンザは、4月中旬には一旦消失したが、22日よりB型ばかりであるが、再び幼稚園や学校で増加してきた。学級閉鎖もあるようである。感染性胃腸炎は保育園の乳幼児でロタウイルス陽性例が増えており、嘔吐と熱は1日足らずと軽度であるが、下痢は頻回にある。同時に保護者も罹っている。対象疾患ではないが、インフルエンザが沈静化するに伴い、マイコプラズマ肺炎と思われる方が再び増えてきた。（矢追 記）

県中部地区概況 報告数は、278例から268例と減少した。上位5疾患は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎、突発性発疹、水痘およびマイコプラズマ肺炎の順であった。感染性胃腸炎は、131例と増加し、インフルエンザは98例と減少傾向である。基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎1例の報告が、葛城保健所よりあった。眼科定点からの報告はなかった。（高木 記）

県中部外来状況： 外来数は減少傾向。インフルエンザはB型がまだあるが多くはない。症状は軽症。感染性胃腸炎は嘔吐のみの例が少し増加。乳児のロタウイルスは減少傾向。アデノウイルス（or ECHO, Coxsackie）の高熱持続例があるが、検査で陽性に出にくい印象。水痘が増加中、A群溶連菌感染症、流行性耳下腺炎もある。発熱なく、四肢全体、両頬に小発赤疹が散在する幼児例を散見する。（岡本 記）

県南部地区概況 報告数（第15週→第16週）は71例→49例と減少。報告のあった疾患は、①インフルエンザ（30例→23例）、②感染性胃腸炎（30例→17例）、③A群溶連菌咽頭炎（2例→5例）、④水痘（2例→2例）、⑤RSウイルス感染症（1例→1例）、⑥突発性発疹（3例→1例）であった。（柳生 記）

県南部外来状況： 外来数は横這い、日により増減している。第15週でインフルエンザ、感染性胃腸炎共に再び増加した。インフルエンザは全てB型で、市内一部の地域の保育所で流行、第16週では減少傾向となったが、校区の小学校や中学校でも少し見られるようになった。症状は軽症が多い。感染性胃腸炎は保育所でロタが流行、他にクリーム色便で腸管アデノもあった。キャンピロバクターも有り。他は水痘、A群溶連菌咽頭炎が少し程度。（山本 記）

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（3月月報）】

平成24年3月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・STD患者数（人）

疾患名/報告月	3月		前月（2月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	4	0.44	6	0.67
性器ヘルペスウイルス感染症	3	0.33	0	0
尖圭コンジローマ	2	0.22	1	0.11
淋菌感染症	0	0	6	0.67

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾患名/報告月	3月		前月（2月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	41	6.83	21	3.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	11	1.83	2	0.33
薬剤耐性緑膿菌感染症	3	0.50	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

【病原体（ウイルス）検出情報（平成24年3月）】

病原体定点医療機関から保健環境研究センターウイルスチームに搬入された検体の、3月におけるウイルス検出状況は以下の通りです。

患者数（平成24年3月検出分）

検出病原体		北和	中和	南和	臨床診断名
コクサッキー	B3		1		滲出性扁桃炎（1）
ノロ	GⅡ	1			感染性胃腸炎（1）
インフルエンザ	AH3	2	14	1	インフルエンザ様疾患（15）、 インフルエンザ（1）、脱水症（1）
インフルエンザ	B	1			インフル様（1）
エコー	6	1			無菌性髄膜炎（1）
ロタ	A		1	1	感染性胃腸炎（2）
コクサッキー	B3		1		滲出性扁桃炎（1）

（感染症情報センター 記）